

ございます 年頭にあたり

町民の皆様、明けましておめでとうございます。

町民の皆様には行政の推進にあたり、様々な面でご支援、ご協力をいただき心よりお礼を申し上げます。

「快適 ふれあい 活力のあるまち 上三川」をまちづくりの目標とした総合計画後期基本計画もいよいよ最後の年となりました。目標とするまちに一步でも近づくように、これまで各種の施策を展開してまいりましたが、その成果がどれほどのものであるかは町民の皆様それぞれご審判いただきたいと思います。

さて、国が現在進めております地方分権の推進や補助金の削減、税源委譲、交付税制度の見直しなどのいわゆる三位一体改革により、地方自治体の置かれている状況は、今後大きく変わろうとしております。いろいろな事務事業が、国から地方においてまいりますが見合う相応の財源が委譲されず、また財源調整機能としての地方交付税制度も見直されるということで、地方自治体にとっては、守備範囲が拡大する一方で独自の施策に充てる財源が制約されること予想されております。



上三川町長
猪瀬 成 男

本町におきましては、町内企業の業績回復により町税収入は大幅に改善いたしました。今後とも継続される保証はありません。また、国庫支出金や地方交付税等の減少は確実に、長期的な財政見通しは楽観が許されない状況にあります。

こうした中で、本年は、富士山地区の市街地整備や生活道路の整備あるいは上水道事業並びに公共下水道事業、農業集落排水事業等の生活環境の整備を引き続き推進するとともに、インターネットの利用や校内LANの整備などの教育施設の整備充実を図ってまいります。また、首都圏農業を中核とした農業の振興や中

心市街地の活性化に努めるとともに、保健福祉対策等の各種事業を行い、町民の皆様が「安全で安心できる」まちづくりをすすめるものでございます。

本町は、今後とも自主独立の道を選択したところであり、多くの町民の皆様が望む理想の上三川町を実現するために、私も最大限の努力をしてまいります。

今後とも町政執行につきましまして、皆様の一層のご協力とご支援をお願い申し上げます。年頭にあたりましてのご挨拶といたします。



あけまして おめでとう

新年、明けましておめでとうございます。町民の皆様には、健康で希望に満ちた新春をお迎えのことと、心からお喜び申し上げます。

わたくしが議長に就任し1年の歳月が過ぎましたが、その間、町民の皆様にはひとかたならぬご支援、ご協力、ご鞭撻をいただき衷心よりお礼を申し上げる次第でございます。

昨年、当町の将来をうらなう大変重要な年でありました。市町合併につきましてアンケートにより町民皆様の意向を確認させていただき、町議会としても最大限尊重しなければならいと判断致しまして宇都宮地域合併協議会から脱退、当面は町単独の道を歩むことを選択いたしました。

また、新聞紙上やテレビニュースなどご承知のとおり、昨年は三位一体改革の全体像が決定されました。地方交付税交付金、公立保育所運営費や義務教育費、国民健康保険等々、使い道が決められている補助金を削減して、その代わりに地方に使い道を限定しない税源を移譲するというものであります。国・地方を通じた財政再建と地方の自立度を高

めようというものであり、また地方には自らの裁量により創意工夫をこらした行政運営が求められます。地域により、違い、格差が生じるのではないかと言われております。

地方の時代と言われて久しい昨今、具体的な姿は今もはっきりとは見えないままで、歩みは遅く歩幅も狭いものかもしれませんが、一歩一歩確実に地方分権は進んでおります。

当町においても、今後限られた財源のもと厳しい行財政運営になると予想されますが、町議会では町民皆様の最大幸福を求めることに尽力する次第であります。

へ一、心身をきたえ教養を深めましょう。一、郷土を愛し環境をととのえましょう。一、互いに励まし心をふれあいましょう。一、勤労をととび産業をさかんにしましょう。

一、決まりをまもりよい家庭を築きましょう。これら5つの町民憲章を念頭に置き、町の有り様とは何なのか、先見の明をもちまして山積する課題に取り組んでいく決意でありますので、町民皆様のなご一層のご支援とご協力を賜りますようお願いいたします。皆様方のご多幸とご健康を心からご祈念いたしまして、年頭のご挨拶いたします。



上三川町議会議長
貝 賀 芳 夫

